

令和2年10月/令和3年4月 地域創生科学研究科修士課程

入学試験問題

社会デザイン科学専攻 地域人間発達支援学プログラム

地域人間発達支援学（小論文）	1 ページ
教科教育・教育社会学	2 ページ

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. 地域人間発達支援学プログラムでは、地域人間発達支援学（小論文）と専門科目（教科教育・教育社会学）それぞれ1科目を課します。
2. 出願時に届け出た専門科目を受験してください。
3. 答案は試験問題ごとに別の解答用紙を用い、それぞれに受験番号、試験科目名及び問題番号を記入してください。
4. 外国人留学生特別選抜の受験者は、日本語・母語辞書（電子辞書・翻訳機等は除く）を使用することができます。
5. 試験終了後は、解答用紙及び下書き用紙を全て回収します。試験問題は持ち帰ってください。

令和2年10月/令和3年4月 地域創生科学研究科修士課程

入学試験問題

科目名 教科教育・教育社会学	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 地域人間発達支援学プログラム
-------------------	---

問題

他国と比較した時の日本のいじめの特徴について、どのようなことがわかっているか。

そのような特徴をふまえて、どのような対策が望ましいか。その根拠とともに論じなさい。

令和3年4月入学（第2次） 地域創生科学研究科修士課程

入学試験問題

科目名 地域人間発達支援学	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 地域人間発達支援学プログラム
------------------	---

（問1）

新型コロナウイルス感染症の出現により、これまでの生活様式を見直しながら、ウィズコロナ・アフターコロナ社会を構築するにあたり、地域社会が抱える課題について、あなたの認識に基づいて述べてください。

（問2）

（問1）で挙げた課題について、それらを解決していくためにどのような教育的・社会的支援が必要であるか、あなたの専門性の立場から述べてください。

令和3年4月入学（第2次） 地域創生科学研究科修士課程

入学試験問題

科目名 スポーツ・健康科学	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 地域人間発達支援学プログラム
------------------	---

1. 子どもの体力・運動能力の低下の要因は、身体活動量・運動量減少や基本的な動きの未習得があげられています。その中で、基本的な動きの習得の必要性が指摘されていますが、その理由について体育やスポーツの観点から述べて下さい。

令和3年4月入学（第2次） 地域創生科学研究科修士課程

入学試験問題

科目名 教科教育・教育社会学	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 地域人間発達支援学プログラム
-------------------	---

下の文章を読んで、後の問い（問1）に答えよ。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

加藤弘通「自尊感情の発達の推移とその関連要因の変化」（『我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（平成30年度）報告書』 第三部有識者の分析 はじめに 内閣府2019より）（なお設問の都合で原文を一部省略・改変したところがある。）

問1 この文章を踏まえて、日本の若者の自尊感情に関して、どのような教育が必要だと考えるか、あなたの考えを述べよ。